

## 2024年7月7日（日）第二礼拝「御言葉と救い」10章10節

人間は言葉を話すことができます。創造当時、人間は神様と会話することができました。そんな素晴らしい祝福を受けた人間でしたが、サタンの誘惑を受けて神様に反逆し、間違った言葉を使うようになって滅びを身に招きました。しかし、神様はこんな人間に救いを与えられました。私たちが心でイエス様を信じるなら義と認められ、口で告白して救われます。

第一番目、御言葉と救いです。神様は御言葉です。「初めに、ことばがあった。ことばは神とともにあった。ことばは神であった。…」(ヨハネ1:1~) 全てはこの言葉から造られました。私たちがこのいのちの言葉を信じて告白するなら、永遠のいのちが与えられます。逆にサタンの言葉を信じるならば、死ぬ者となりエデン(神の国)から追い出されます。なぜなら、神様と言葉が違うので神の国に住むことができないのです。ハムの息子ニムロテはバベルの塔を造り神様に反逆しましたが、神様はその言葉を混乱させ、人々を全地に散らされました。私たちはイエス様を信じて聖霊を受け、異言を語り、共に礼拝する者であり、神様の言葉に戻った者たちの集まり(エクレシア)です。そこにはしるしや奇跡や癒しが伴います。この神様の言葉を持つ私たちは神の家族、兄弟姉妹であります。

第二番目、God Bless You. 祝福の言葉を語ります。私たちは神様から祝福を受けました。その祝福を持って私たちは神様を祝福し(ほめたたえ)、他の人を祝福します。イエス様は律法の呪いを全て負い十字架で処分してくださいました。これはアブラハムの祝福がイエス様によって異邦人である私たちに及ぶためです(ガラテヤ3:13.14)。アブラハムはその父の時代から偶像を造って売り、生活をしていましたが、そんな彼に神様は訪れ、「わたしの示すところに行け。」と語られます。そこはエルサレムです。二千年後その同じ場所でイエス様は全ての人の罪を背負って十字架で死に復活されました。このイエス様を今この時点で信じるなら私たちは救われます。アブラハムは子どもが与えられるという神様の約束を受けた後、八十五歳になっても未だ実現せず、エリエゼルを跡取りにしようと考えていました。しかし、神様は「あなたから生まれ出てくる者が跡継ぎになる。」と語られます。そして、彼を外に連れ出して空の星を見せ、「あなたの子孫はこのようになる。」と祝福されました。その後アブラハムは百歳で子どもを産むこととなります。失敗もありましたが、神様はいつも救ってください、アブラハムはどこにいても神様から祝福されました。彼は祝福のパイプであり、このアブラハムの祝福を受け継ぐ私たちもまた他の人たちを祝福する者であります。

第三番目、癒しを宣言することです。私たちの思いや言葉は、イエス様のいのちの言葉とは真逆で死です。というのも私たちは環境を見て、信仰が揺らぎ疑いやすいからです。そして、その口で結ぶ実を自ら刈り取ってしまいます(箴言18:21)。しかし、私たちが自分の思いを捨て、いのちの御言葉を宣言し続ける時、その信仰の通りに癒されます。すぐに癒されることもあれば、時間をかけて癒されることもあります。ですから、私たちがあきらめずに癒しを宣言し続けることが大切なのです。アーメン！